

2021年5月の行事予定表

1	土		16	日	礼拝式
2	日	礼拝式	17	月	
3	月		18	火	
4	火		19	水	
5	水		20	木	祈禱会
6	木	祈禱会	21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	礼拝式
9	日	礼拝式、教会役員会	24	月	
10	月		25	火	
11	火		26	水	
12	水		27	木	祈禱会
13	木	祈禱会	28	金	
14	金		29	土	
15	土		30	日	礼拝式
			31	月	

5月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

この1年の月報を見返すと、今までのような特別集会や修養会やコンサートのような行事の記事がありません。教会にとってもどんな1年だったか物語るものです。にもかかわらず、毎月月報を発行できたのは、皆さんがアンケートやインタビュー答えてくださったり、証しを寄せて下さったり、協力をしていただいたおかげです。

本来は教会の様子を伝えることを目的としていましたが、Web 礼拝で顔を合わせて会えない今、皆さんのつなぎとなることを祈って奉仕してきました。離れていても、主にある家族であることをもう一度確認したいと思います。

教会月報

2021年5月

No.360

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

あなたの父母を敬え

「私たちは、キリストの使徒として重んじられることができたのですが、むしろ、あなた方の間で幼子のようになりました。母親がその子供を慈しみ育てるように、…」

I テサロニケ 2 : 7

5月の第二日曜日が「母の日=マザーズデー」とされて久しくなりました。米国で母親の召天記念日に娘さんが花束をささげたことから始まったといわれています。日本でも取り入れられて今や世界中で、盛大に祝われることとなりました。そして、いつのころか「父の日」も加わり両親への感謝の時となっています。ほほえましい限りです。

時代が変わっても親の愛は子へと注がれます。とりわけ母の愛は神の愛に一番近いともいわれています。親に愛された人は、また子どもたちに対して、見返りの愛を求めることなく愛します。また、その他の人にも博愛的精神をもって愛することでしょう。

しかし、残念ながら親に愛される経験が持てなかった方々も世にはおられますが、人間関係のかかわりによって愛が育まれる事でしょう。

さて、聖書で使徒とされたパウロは、神様に喜ばれるならば命さえも惜しむことなく福音(神からの喜びの訪れ=グッドニュース)を伝えたいと願いました。その有様は、母が子に対するように相手に対していとおしむようでありました。

私たちは、神と人に愛されたから真の愛を知り、その愛を他者にあらわしたいと願う者とされます。神の愛と人の愛によって私たちは愛の人となるのでしょう。

今年の母の日、生きておられる母に感謝の言葉を伝えましょう！
召天された母には、亡き母を思い出して思い出を胸に秘めたい！

牧師 永松 清

イースターおめでとう



イエス様の復活を祝うイースター礼拝は久しぶりの礼拝再開と重なり喜びも2倍となりました。礼拝前の成人科も9人の参加、CSも3人の子ども達がきました。

会堂にも元気でしたか？どうしてましたか？と声が行き交い、久しぶりの再会を喜び合いました。まだまだ新型コロナに用心は必要ですが、共に集うことで励まされることを改めて感じた礼拝でした。

にぎやかな意見の飛び交う成人科

(なお、4月25日より、再々度のWeb礼拝となります。)

いつものような、イースターのお祝いプログラムはおこないませんでした。子ども達は雨の中エッグハントをしました。礼拝(20名の参加)後それぞれの席に座ったまま集合写真を撮りました。映す瞬間マスクを取るといふ早業はいかがでしょうか？皆さんの嬉しそうな表情をご覧ください。



元気に集まりました



また雨の中ではありませんでしたが、墓前礼拝は二手に分かれ、第一墓地(3名)と第二墓地(6名)で行いました。

祈りによる支え

H.D.兄

訳あって、住み慣れた便利なところから2月1日に転居しました。年を取ってからの引越は、実に身体に堪えるものです。ストレスも半端ないものでした。そんな中おきた事件をあかしします。

引越しの前日は、私は引越し先で受け入れ準備、家内は荷造りの仕上げ、と作業を手分けをしました。その日仲介業者に鍵を渡す必要があり、1本残した鍵は家内が管理しました。双方の作業が終わり、打ち合わせ通りに旧宅に戻ろうとしたのですが、家内の携帯電話が通じません。家の鍵は家内しか持っておらず、少々イライラしながら、時間をおいて電話しましたが、呼び出し音だけで何の反応もなし。「まったく、大事な時に携帯に出ないとは・・・！」すると突然、見知らぬ男性の声が電話口に出るではありませんか。「えっ！？し、失礼ですが、どちら様でしょうか？」、「落ちていた電話が鳴ったので、拾った者ですが」。「い、今、どちらにいらっしゃいますか？」、「コナミスポーツジムの前です」、「それは家内の携帯です。す、すぐにまいります」。

こうして親切な男性に拾われた家内の携帯電話は、無事私の手元に戻りました。携帯電話のケースにはクレジットカードなどが入っており、様々な重要な情報もすべて携帯電話の中にあるのです。引越しという大事な時に携帯電話を紛失してしまったら・・・。どれほどの負担が増えることでしょうか。考えただけでも気が萎えてしまいます。心から主に感謝しました。コナミスポーツジムの前は、車や人通りが多いところです。私が電話をかけた時間が少しでもズレていたら、誰か他の人に拾われていたら、或いは車に引かれ壊れてしまったら・・・。それが何事もなかったかのように、私の手の中にあるのです。玄関のチャイムを鳴らし、途方に暮れていた家内に携帯電話を手渡し時の家内の表情は・・・。面白かったです。

電話を手にした家内を見たときに「あ～、祈られていた！私たちは祈られている！」そう確信しました。コロナ禍で礼拝を共にし、顔を合わせて祈り合うことは出来ませんでしたが、しかし、祈りによって私たちは「ひとつの身体として結び合わされている」と。ハレルヤ、主に感謝します。

4月25日(日)教会総会がおこなわれました。出席者11名、委任状31名で、全ての議題が承認されました。